

令和3年度恩納村博物館企画展

「新収蔵品展－平成31・令和元年度、令和2年度収蔵資料－」を開催しています。

5月23日まで恩納村博物館企画展示室にて「新収蔵品展－平成31・令和元年度、令和2年度収蔵資料－」を開催しています。「新収蔵品展」とは、博物館が過年度に寄贈や収集などで、新たに収蔵した資料を公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展をめざして開催するものです。

一般的に博物館の資料の収集方法には寄贈や購入、採集などの方法がありますが、今回の新収蔵品では、平成31・令和元年度と令和2年度に村内の方から当館にご寄贈いただいた資料を中心とした新収蔵資料を展示公開いたします。主だったものとしては、村内の方より寄贈していただいた戦前の絹の反物で仕立てられた着物をはじめ、『尋常小学国語読本』と『小学国語読本』の完全復刻版、赤焼厨子甕、唐箕（トーム）などがあります。

その他、歴史分野では昭和62年に沖縄県で開催された海邦国体に関連し、恩納村名誉村民である佐久本嗣男氏がモデルとなっている第42回国民体育大会秋季大会記念テレホンカード、海邦国体の歌「力よ技よ」と海邦国体音頭「笑顔の美らさ」が収録されたレコードや志那事变従軍記章、軍人傷痕記章、天皇陛下から下賜された義指などをご寄贈いただきました。

自然史分野では県内で採集されたクロシュミセンガイ、ホラガイ、トウカムリガイ、シレナシジミなど大型貝の標本や沖縄島中部のニービ（砂岩）、久米島の安山岩、本部半島のチャートなど県内の岩石標本をご寄贈いただきました。

ご寄贈いただいた皆様に感謝するとともに、当博物館では、これらの貴重な資料を大切に保存し、調査研究・展示などに有効に活用することで、よりいっそう地域文化の創造に寄与していきたいと考えています。

また、恩納村に関する資料（民具や標本など）を博物館に寄贈していただけるという方がいらっしゃれば恩納村博物館までご連絡をお願いします。



赤焼厨子甕



志那事变従軍記章



レコード海邦国体の歌「力よ技よ」

開催期間：5月23日（日）まで

5月6、7、11、17日は休館です。

開館時間：午前9時～午後5時（最終入館は4時30分）

会場：博物館2階企画展示室

観覧料：無料



県産大型貝類標本



久米島産安山岩



尋常小学校国語読本復刻版



海邦国体テレホンカード